

2022年6月23日

各 位

会 社 名 株式会社リミックスポイント
代表者名 代表取締役社長 CEO 小田 玄紀
(コード番号：3825)
問合せ先 執行役員 CFO 鈴木 眞治
(TEL：03-6303-0280)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社は、2017年12月に制定いたしました「コーポレート・ガバナンス基本方針」（最終改訂：2021年12月19日）において、取締役会の役割・責務と経営の基本的な方針、戦略および重要な業務執行にかかる事項の決定ならびに業務執行の監督を規定したうえで、取締役会の実効性について、毎年取締役会で分析・評価し、その結果の概要を開示することとしております。

このたび、当社は、2022年6月23日開催の取締役会において、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、以下のとおりその概要を開示いたします。

記

1. 実施内容

対象期間：2021年4月から2022年3月まで（同期間中に開催された取締役会（計17回））

評 価 者：全ての取締役（監査等委員である取締役を含む。）（計10名）

実施期間：2022年3月

概 要：・取締役会の実効性に関するアンケート実施

当年度は、より幅広い視野から課題を把握し取締役会の実効性向上へつなげるため、コーポレートガバナンス・コード改訂等も踏まえ、設問項目を見直し、以下5つの大項目から構成されるアンケートを実施しました。

「取締役会の構成と運営」、「経営戦略と事業戦略」、「企業倫理とリスク管理」、「経営陣の評価と報酬」および「株主等との対話」

なお、当年度の実効性評価では、評価プロセスの客観性・透明性確保、及びガバナンスの潮流を踏まえた新たな視点の採り入れを目的として、外部機関のサポートを導入しました。

2. 分析および評価結果

アンケートの結果、総合的に高い評価となりましたため、当社の取締役会において、重要事項および業務執行の監督を適切に行うための実効性は、概ね確保されているものと評価しました。

分析および評価結果の概要は以下のとおりです。

- ・取締役会における議題の設定は適切であり、取締役会において審議されるべき事項と経営陣に委任すべき判断事項との振り分けは適切になされている。また、審議される案件の重要度等について適切な配慮がなされるとともに、案件に関する説明・質疑に係る時間の確保も適切であり、活発な意見交換・議論がなされている。

- ・当社取締役会は、経営陣が、企業倫理を重視する自らの姿勢を律するとともに、企業風土の確立を図るために、行動指針が十分に社内に浸透するよう、適切な監視・監督を行っている。
- ・当社取締役会は、会社が置かれている事業環境や社会情勢を踏まえ考慮しながら、リスクテイクを伴う経営判断プロセスを監督している。但し、会社が直面するリスクを把握・識別し、それらリスクの持つ潜在的影響を評価するために、経営判断プロセスの最適化、リスクマネジメント機能の強化が期待される。
- ・取締役会を戦略的な議論を行う場としての機能を向上させるべく、議案に係る事前説明の充実や早期の情報共有など、限られた時間の中で十分かつ効率的な議論の実現に向けた改善が期待される。
- ・全社を俯瞰した当社グループの中長期的な経営戦略やDX推進、および後継者計画について、今後さらに議論を深めていくことが期待される。

3. 実効性向上に向けた取り組み

今回の実効性評価の結果を踏まえ、取締役に対する早期かつ充実した情報提供により取締役会における検討・審議の充実を図ってまいります。また、当社グループの中長期的な成長のため、引き続き取締役会の実効性を確保し、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

以上